

令和6年第2回（2月）瀬戸内市議会定例会

教育委員会行政報告

市長の行政報告に引き続き、教育委員会から行政報告をいたします。

市長の行政報告にもありましたが、新年早々に発生した能登半島地震においては、亡くなられた方々に哀悼の意を表しますとともに、被災された皆さまには心よりお見舞い申し上げます。

被災者の中には、こどもたちも含まれ、自宅が倒壊するなどされた住民の方々の避難所として被害を受けた学校も利用される中、こどもたちの学習機会を保障するために、中学生を集団で研修施設へ移転させるという、これまでにない取組を始められた様子も報道されていました。できる手段を講じて、こどもたちの教育の機会が一日も早く復活できることを祈るばかりです。

市内の学校園では、各中学校生徒会が自発的に被災者を支援するための募金活動を行いました。防災や被災者支援について学ぶ機会として、こどもたちにもできること、こどもたちだからできることを教職員が一緒になって考え、行動を起こしていこうと呼びかけているところです。また、学校行事については、生活様式の変化に伴い、卒業式や入学式についても、時間短縮等の見直しを行いつつ、卒業生、新入生、在校生、保護者、教職員、来賓者の参加で行います。インフルエンザ等の感染症の流行が心配ですが、こどもたちにとって大きな意義をもつ学習・体験の機会として無事に開催できるよう準備を進めています。

それでは、主な取組についてご報告させていただきます。

○ 給食費について

学校給食費は、令和6年度から公会計に移行します。公会計化により、学校での給食費の確認や集計に関わる教職員の負担が軽減され、こどもに向き合う時間や授業改善の時間が確保され、学校教育の質の向上が見込まれます。また、納付方法においても保護者の利便性の向上を図っていきます。

令和5年度は市内小・中学校の給食費において、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、2学期・3学期の無償化を実施してきましたが、令和6年度においても、4月から9月分までの間、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の活用による無償化を行います。なお、10月からは、ふるさと応援寄附金等を活用しながら、半額免除を計画しています。幼稚園の給食費については、現在の給食費単価の据え置きを継続していきます。

○ 瀬戸内市こどもみらいサポートセンターについて

これまでもご報告させていただいていますが、近年、本市では長期欠席・不登校の児童生徒が増加の傾向にあります。また、家から出ることが困難ないわゆるひきこもりの事例も毎年のように見受けられます。

令和5年度の取組として、試行的に自立相談員によるアウトリーチ型支援をスタートさせたことにより、教職員が直接会うことが難しかった児童が、徐々に心を開き、今では家庭訪問の継続を希望するほどになったという好事例もあります。

小学校、中学校には、こういった支援を必要としている児童生徒の他、自身では、なかなか声をあげにくい児童生徒や保護者も存在します。

この課題解決に向け、青少年育成センター（青少年健全育成）と機能強化した教育支援センター（適応指導教室のぞみ、教育相談室）を併設し、青少年の健全育成と長期欠席や不登校の児童生徒の学校復帰や社会的自立とい

った教育支援を統括する「瀬戸内市こどもみらいサポートセンター」を設置します。

将来的に、こどもの問題行動や、不登校、ひきこもりなど、学齢期を中心としたこどもに関する困りごとの相談や支援をワンストップで対応できるセンターを目指していきます。

○ 中央公民館の改修について

中央公民館では、令和6年度からトイレの洋式化、ロビーやホワイエ等の段差解消によるバリアフリー化をはじめ、避難所として使用する部屋への電源供給のための非常用発電設備の設置、避難階段の改修や防災倉庫の設置など避難所としての機能強化を実施していきます。利用者の方々をはじめ来館者の方にご不便とご迷惑をおかけすることとなりますが、ご理解のほどよろしくお願いします。

○ 七尾市への義援金について

平成24年から毎月市内の幼稚園、保育園、こども園を巡回して市内の読書活動を普及・推進している移動図書館車「せとうちまーる号」は、石川県七尾市から譲渡されたものです。こうしたことから、図書館では、図書館の活動をサポートする市民グループ「せとうち・もみわフレンズ」と連携し、能登半島地震で被災した七尾市の一日も早い復興を支援するための募金活動を行いました。募金活動に参加したフレンズのメンバーは、「まーる号への感謝の気持ちを少しでも七尾市に伝えたい」と話されていました。募金活動にご協力くださった方々の思いを含めて七尾市へ義援金をお送りしました。

○ 学校給食調理場について

邑久・牛窓学校給食調理場では、令和6年4月から、邑久地域、牛窓地域の学校園の給食の調理等を始めます。現在調理、配送、洗浄等の業務がスムーズに行えるよう、配送車やコンテナの購入、食器の統一等の調整準備を進めています。

また、アレルギーの対応についても、令和7年4月から実施できるよう準備を進めます。

以上をもって、教育委員会の行政報告とさせていただきます。

令和6年2月20日

瀬戸内市教育委員会

教育長 東南 信行